

公正判決を求める署名，支援募金活動に全力をあげよう!!

—組合員は1人が最低でも5筆集めよう!!—

全国で8単組，約500名の組合員が提訴!!

『赤煉瓦』No.4 (2013.8.5)でお伝えしたように，7月4日に新潟大学職員組合の16名，7月26日に高知大学教職員組合の18名が提訴したことによって，「臨時特例」に対応した給与減額と退職金減額問題で提訴した単組・原告は全国で8単組・約500名にのぼっています(2013年7月末時点)。これまでに提訴した単組・原告の内訳は次のとおりです。

2012年11月27日提訴	福岡教育大	原告：4名
	高専協議会	原告：281名
	高エネルギー加速器研究機構	原告：6名
2013年3月26日提訴	山形大	原告：7名
5月24日提訴	富山大	原告：55名
6月11日提訴	京都大	原告：109名
7月4日提訴	新潟大	原告：16名
7月26日提訴	高知大	原告：18名

さらに東京学芸大学教職員組合，電気通信大学教職員組合，福島大学教職員組合が提訴の準備を進めています。

全大教が公正判決を求める署名，支援募金活動を提起!!

福岡教育大教職員組合と全大教高専協議会の裁判は，年度内に結審を迎える可能性があります。そのため，全大教は7月4日に福岡教育大，高専協議会，高エネ研の組合員の裁判について公正判決を求める署名，支援募金活動を提起しました。今年8月から11月の間に全国で福岡教育大，高専協議会，高エネ研の裁判について，それぞれ50,000筆の署名を集めて，裁判長宛てに提出するものです。

組合員は1人で5筆必ず集めよう!!

署名の目標数を達成するには，全大教の組合員1人が5筆ずつ集めることが必要な計算になります。九州地区の全大教加盟単組は，福岡教育大学教職員組合の訴訟，高専協議会の訴訟を全力で支援していくことを確認しています。熊本大学教職員組合も，自分自身の問題として位置づけ，全面的に支援していくことを定期大会で改めて確認しました。9月末が第1次集約の期日となっていますので，それまでに組合員1名が署名用紙1枚分=5筆を必ず集めるようにしましょう。

注意していただきたいのは，署名用紙は福岡教育大，高専協議会，高エネ研の3種類ありますので，3枚記入してもらってください。したがって，組合員は3種類の署名用紙3枚分(5筆×3枚)を集めることが目標です。

署名と並行して支援募金も行ないます。募金は訴訟支援の旅費など支援活動に活用します。こちらにもご理解のうえ，ご協力ください。

集めた署名，募金は，各支部の執行委員にお渡しください(組合事務所，医学支部事務所に持参していただいても結構です)。

裁判闘争においては，署名運動で世論の動きを具体的に示すことが極めて重要です。全力をあげて署名活動に取り組みましょう!!

『労働法律旬報』1795が特集を企画

『労働法律旬報』1795(2013年7月上旬号)が「国立大学法人の賃下げ訴訟」と題する特集を企画し，提訴した組合の担当弁護士が裁判に至る経緯や裁判の争点などを執筆しています。全国的な状況や裁判の意義を確認するうえで，とても役立ちます。ご覧になりたい方は，組合事務所へご連絡ください(医学部支部の方は医学部支部事務所へ)。

『労働法律旬報』No.1795 7月上旬号 [特集] 国立大学法人の賃下げ訴訟

発行日 2013年7月10日

[特集] 国立大学法人の賃下げ訴訟

国立大学法人の賃下げ訴訟について 小部正治

高エネルギー加速器研究機構 鮎川泰輔

高専賃金減額事件のあらまし 今泉義竜

福岡教育大学教職員組合の賃下げ裁判 吉村真吾

京大訴訟の特徴 岩橋多恵

山形大学賃金減額訴訟について 田中暁

国立大学法人富山大学の賃下げ回復訴訟について 坂林加奈子

新潟大学「賃下げ訴訟」について 中村周而

国立大学法人電気通信大学 平和元

東京学芸大学の賃金切り下げ分返還訴訟 齊藤園生

	熊本大学教職員組合	
	No.6 2013. 8. 8	内線:3529 FAX:346-1247 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp http://union.kumamoto-u.ac.jp/